

## 日本美しい森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはずです。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林につまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、

全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。

### 利用する皆様への国有林からのお願い

- ① 動植物の保護にご協力ください。ペットの連込みはマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- ② 樹木を損傷したり、林産物を窃取したりした場合は、法により罰せられることがあります。保安林内では、下草の採取等も禁止されています。
- ③ 歩道、広場等の区域外への立ち入りはお控えください。指定外でのキャンプは禁止など、それぞれのレクリエーションの森のルールに従ってください。
- ④ 立入制限の表示がある区域には、絶対に立ち入らないでください。
- ⑤ 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある枝がないか、落石の危険がないかなど、安全な場所であることを十分にご確認ください。
- ⑥ 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝えるとともに、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出願います。併せて、登山口等に設置してある「登(入)山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。
- ⑦ 悪天候のときは入林をお控えください。
- ⑧ 余った食糧を林内に棄てることはしないでください。ゴミ・残飯の持ち帰りにご協力ください。
- ⑨ 喫煙は決められた場所をお願いします。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- ⑩ 山道は危険です。歩きながらの携帯電話等の使用は危険ですのでお止めください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- ⑪ 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理局又は森林管理署にご連絡の上、所定の手続きをとってください。

### えりも風景林 アクセスMAP



### アクセス方法

公共交通機関の場合:

- 札幌駅(バス:約5時間30分)→えりも岬・岬小学校前・百人浜下車  
※静内、様似駅にて乗り換え
- 新千歳空港駅(バス:約5時間30分)→えりも岬・岬小学校前・百人浜下車  
※静内、様似駅にて乗り換え
- えりも岬・岬小学校前→えりも風景林第一展望台(徒歩約12分)
- 百人浜→えりも風景林管理棟(徒歩約5分)

車の場合:

- 札幌駅(札樽自動車道、道央自動車道、日高自動車道)→門別IC→えりも風景林(240km、約4時間10分)
- 新千歳空港(道央自動車道、日高自動車道)→門別IC→えりも風景林(180km、約3時間30分)

### えりも風景林

住所:北海道幌泉郡えりも町字えりも岬

お問い合わせ先:

林野庁北海道森林管理局 日高南部森林管理署  
電話番号:0146-42-1615

### えりもレクリエーションの森管理運営協議会

(えりも町役場 産業振興課)  
電話番号:01466-2-4626

### 林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

[http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html)



# えりも 風景林

豪壮な岬の断崖と岩礁が連なる景勝地



# 語り継ごう えりも砂漠の森づくり

## えりも風景林案内図



N  
4  
↑

- 情報コーナー  
管理棟
- トイレ
- 展望台  
見晴台
- その他  
関連施設
- キャンプ場
- 駐車場
- バスのりば
- 風景林
- 散策路
- 散策路(木道)
- 道道

## 気候等と植生・野生生物

年平均風速8.3m/s、風速10m/s以上の日が年間260日以上あり、屈指の強風地帯であり、また、霧の日が多く、年間の濃霧発生日数は100日以上に達し、5~8月の月平均濃霧発生日数は約20日とされています。海岸線の植栽木は主にクロマツ、カシワです。近年はエゾシカが増加傾向にあります。



管理棟から岬方面の眺め

## 楽しみ方

展望台や地上13mの管理棟(百人浜)より、緑化により砂漠状態から蘇った森の状況が一望できます。遊歩道は木道や木質チップが敷かれています。また、えりも岬を中心とする一帯の国有林全域が日高山脈襟裳国定公園に指定されており、豪壮な岬の断崖と岩礁が連なっています。また、周辺には日高耶馬溪や黄金道路、悲恋沼等の多くの景勝地があります。みどり館(林業総合センター)では、当時の手作り道具の展示、パネルやDVDにより緑化の歴史を紹介しています。



第二展望台へのクロマツ林

## 地理的・地形的特徴

標高は5~70mの丘陵地形。えりもは、アイヌ語で「エンルム」(突き出た頭)。



上空から襟裳岬を望む

## 歴史的・文化的特徴

えりも地区の海岸林は、明治時代の開拓により森林の伐採や家畜の放牧により荒廃し砂漠化したため、地元の町や住民から緑化に対する要望が出され、昭和28年から緑化事業が開始されました。緑化事業は地元住民の協力を得て行われました。海岸に打ち上げられたゴタ(雑海草)を、地表の乾燥防止や肥料として活用するなど試行錯誤が繰り返されました。えりも地区は寒さ、風の強さに加え、霧の発生が多く、日照が十分でないため、植物の成長がしづらく、緑化には困難を要してきました。事業開始から60数年が経ち、現在は草本類や森林に覆われています。えりも国有林治山事業の詳細は、下記のホームページでご覧頂けます。(日本語)



昭和34年頃 緑化前の荒廃した様子

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hidakananbu/conservation.html>

## 施設情報

- ・標高 約5~70m
- ・面積 419.57ha
- ・入園料 無料
- ・開園期間 通年24時間利用可能
- ・有人施設 【管理棟(百人浜)】 4月下旬~10月中旬 9:00~17:00  
【みどり館】 4月~12月 9:00~17:00  
【百人浜オートキャンプ場】 4月20日~10月20日 10:00~19:00
- ・宿泊 襟裳岬周辺で5軒、えりも町市街地(車で約20分)で5軒あります。
- ・駐車場 10台(無料)